

各事例の詳細について

平成 22 年 5 月 31 日
農 林 水 産 省

| 番号 | 確認場所 | 経営状態 | 飼育頭数 | 位置 | 経過等 | 検査結果 陽性 (31日判明) |
|-----|--------|----------------|--|---------------------------|---|-----------------------|
| 239 | 児湯郡川南町 | 酪農 | 39頭 (搾乳牛23頭 育成牛6頭 子牛10頭) | 225例目の 農場から 北東約150m | ・5月29日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、2頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付(25日、ワクチン接種) | 2頭 |
| 240 | 児湯郡高鍋町 | 肉用牛繁殖 | 43頭 (繁殖牛24頭 育成牛2頭 子牛17頭) | 177例目の 農場から 北西約350m | ・5月29日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎等を確認 ・翌日、検体を動物衛生研究所に送付(24日、ワクチン接種) | 1頭 |
| 241 | 児湯郡川南町 | 肉用牛繁殖 | 23頭 (繁殖牛12頭 育成牛3頭 子牛8頭) | 79例目の 農場から 南約350m | ・5月30日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛の口と鼻に傷にを確認したと届出 ・同日、立ち入り、流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付(25日、ワクチン接種) | 3頭 |
| 242 | 児湯郡川南町 | 酪農・肉用牛 複合経営 | 87頭 (搾乳牛80頭 繁殖牛3頭 子牛4頭) | 15例目の 農場から 北約500m | ・5月30日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛3頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付(26日、ワクチン接種) | 2頭 |
| 243 | 児湯郡都農町 | 肉用牛繁殖 | 253頭 (繁殖牛133頭 子牛120頭) | 72例目の 農場から 南西約150m | ・5月30日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に発熱等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の歯茎に潰瘍等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付(26日、ワクチン接種) | 1頭 |
| 244 | 児湯郡都農町 | 肉用牛繁殖 | 28頭 (繁殖牛14頭 育成牛2頭 子牛12頭) | 212例目の 農場から 西約100m | ・5月30日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭に流涎・発熱等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付(26日、ワクチン接種) | 1頭 |
| 245 | 児湯郡都農町 | 肉用牛繁殖 | 12頭 (繁殖牛6頭 子牛6頭) | 48例目の 農場から 南東約500m | ・5月30日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛1頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、1頭の鼻・口等にびらんを確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付(26日、ワクチン接種) | 1頭 |
| 246 | 児湯郡川南町 | 肉用牛繁殖 | 当該農場55頭 (繁殖牛24頭 育成牛4頭 子牛27頭) 関連農場①11頭 (繁殖牛6頭 子牛5頭) 関連農場②2頭 (繁殖牛2頭) | 114例目の 農場から 南西約1km | ・5月30日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛2頭に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭に流涎等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付(24日、ワクチン接種) ・当該農場の飼養管理者が、別の農場(2箇所)でも飼養管理を行っていたことから、別の農場の飼養牛全頭も疑似患畜とした。 | 3頭 |
| 247 | 児湯郡都農町 | 肉用牛繁殖 | 12頭 (繁殖牛6頭 子牛6頭) | 136例目の 農場から 南西約400m | ・5月30日、農場主から宮崎県に対し、飼養牛に流涎等を確認したと届出 ・同日、立ち入り、3頭の口内にびらん等を確認 ・同日、検体を動物衛生研究所に送付(26日、ワクチン接種) | 3頭 |